

別紙様式第5号(別紙)

障害者雇用状況計算書

①: 短時間労働者と分けて記入してください。	商号又は名称 株式会社 広島〇〇〇	②の短時間労働者の数については0.5倍して計算してください。	所在地 東京都新宿区〇〇-〇 〇〇ビル	③の重度身体障害者・重度知的障害者の数については2倍にして計算してください。	⑨と⑩の障害者の数については0.5倍して計算してください。	小数点以下第2位を切り捨てた数を記入してください。
------------------------	----------------------	--------------------------------	------------------------	--	-------------------------------	---------------------------

障害者雇用算定年月	① 常用雇用労働者の数 (短時間労働者を除く) 注1・2	② 短時間労働者の数 注2	A 常用雇用労働者の数 (①+②)×0.5 注1	B 障害者である常用雇用労働者(短時間労働者及び特定短時間労働者を除く)の数 注2・3							C 障害者である短時間労働者の数 注2				D 障害者である特定短時間労働者の数 注3			E 雇用障害者数 (⑦+⑫+⑮)	F 障害者雇用率 注5 (E/A×100)		
				③ 重度身体障害者及び重度知的障害者の数	④ 左記以外の身体障害者及び知的障害者の数	⑤ 精神障害者の数	⑥ その他の障害者の数 注4	⑦ 小計 (③×2+④+⑤+⑥)	⑧ 重度身体障害者及び重度知的障害者の数	⑨ 左記以外の身体障害者及び知的障害者の数	⑩ 精神障害者の数	⑪ その他の障害者の数 注4	⑫ 小計 (⑧+⑩)+[(⑨+⑪)×0.5]	⑬ 重度身体障害者及び重度知的障害者の数	⑭ 精神障害者の数	⑮ 小計 ([(⑬+⑭)×0.5])					
令和6年	7月																				
	8月																				
	9月																				
	10月																				
	11月																				
	12月																				
令和7年	1月	77	12	83	2	1	0	0	5	0	0	1	1	1.5	1	1	1	7.5	9		
	2月	77	12	83	2	1	0	0	5	0	0	1	1	1.5	1	1	1	7.5	9		
	3月	77	12	83	2	1	0	0	5	0	0	1	1	1.5	1	1	1	7.5	9		
	4月	80	12	86	2	1	0	0	5	1	0	1	1	2.5	1	1	1	8.5	9.8		
	5月	80	12	86	2	1	0	0	5	1	0	1	1	2.5	1	1	1	8.5	9.8		
	6月	80	12	86	2	1	0	0	5	1	0	1	1	2.5	1	1	1	8.5	9.8		

- (注1) 常用雇用労働者の数は、1週間の所定労働時間が20時間以上で、次のいずれかを満たす者の数を記入してください。
 イ 雇用期間の定めなく雇用されている労働者
 ロ 一定の雇用期間を定めて雇用される労働者であって、雇用期間が反復更新され、過去1年を超える期間について引き続き雇用されている労働者
 ハ 雇入れの時から1年を超えて引き続き雇用されると見込まれる労働者
- (注2) 短時間労働者とは、1週間の所定労働時間が、当該事業所に雇用する常用雇用労働者の1週間の所定労働時間に比べて短く、かつ、20時間以上30時間未満である常用雇用労働者をいいます。
- (注3) 特定短時間労働者とは、1週間の所定労働時間が10時間以上20時間未満であり、かつ、(注1)イからハのいずれかを満たす者をいいます。
- (注4) その他の障害者とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病を有する者(身体障害者手帳(等級が1級から6級及び7級に該当する障害が2つ以上の場合を除く)、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者を除く)等をいいます。
- (注5) 小数点以下第2位を切り捨てた数を記入してください。
- (注6) 前年7月(認定日から1年未満にあつては認定された月)から当該年の6月までの障害者雇用状況を記入してください。
- (注7) 各月の初日の労働者数を記入してください。
- (注8) 県内の本店、支店、営業所等の合計数をそれぞれ記載してください。